



2012年5月25日

各位

会社名 住友化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 十倉 雅和
(コード番号 4005 東証・大証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室 (広報)
部長 平山 知行
(TEL : 03-5543-5102)

サウジ・アラムコとの「ラービグ第2期計画」について

住友化学とサウジアラビアン・オイル・カンパニー (サウジ・アラムコ) が共同で設立したラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー (ペトロ・ラービグ社) は、サウジアラビアのラービグにおいて、石油精製・石油化学の統合コンプレックス事業 (「ラービグ第1期計画」) を運営しております。住友化学は、これまで、「ラービグ第2期計画」のフィージビリティ・スタディー (企業化調査) をサウジ・アラムコと共同で実施してまいりましたが、このほどその事業性を確認し、EPC (エンジニアリング・調達・建設) 契約をはじめとする各種プロジェクト契約の締結や、プロジェクト・ファイナンスの確保など、計画を確定するために必要な作業を進めていくことといたしました。

「第2期計画」では、新たに確保する30百万立方フィート/日のエタンと、約3百万トン/年のナフサを主原料に、エタンクラッカーの増設や芳香族プラントの新設を通して、付加価値の高いさまざまな石油化学製品を生産いたします。2016年前半から順次稼働させていくことを目標としており、今後、ペトロ・ラービグ社において必要な承認手続きを経た上で、同社が計画の実施主体となる予定で、総投資額は、約70億ドルを想定しております。

製品構成は、EPDM (エチレン・プロピレン・ゴム)、TPO (熱可塑性エラストマー)、MMA モノマー (メチルメタクリレート)、PMMA (メタクリル樹脂)、LDPE/EVA (低密度ポリエチレン/エチレン酢酸ビニール共重合樹脂)、パラキシレン/ベンゼン、キュメン、フェノール/アセトンです。なお、合わせてフィージビリティ・スタディーを実施してきた、アクリル酸、SAP (高吸水性樹脂)、カプロラクタム、ナイロン6樹脂、ポリオールにつきましては、第三者との協業も含めて、引き続き最適な実施の形態について、検討してまいります。

以上